



入場無料

定員 **300** 名

事前申込制

日・英 同時通訳付

2017年 **10** 月 **7** 日 (土)

13:00 - 17:30 開場 12:30

東京国立博物館 平成館大講堂

主催 | 文化庁、国際交流基金アジアセンター、文化遺産国際協力コンソーシアム

後援

外務省、東京文化財研究所、奈良文化財研究所、国際協力機構、住友財団、三菱財団、トヨタ財団、文化財保護・芸術研究助成財団、ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所、日本ユネスコ協会連盟、国立民族学博物館、日本イコモス国内委員会、NHK、朝日新聞社、産経新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

国際シンポジウム
東南アジアの
歴史的都市での
まちづくり
— 町の自慢を、町の魅力に —

趣 旨

東南アジアには、人々を魅了する歴史的都市が数多くあります。世界遺産であるフエやホイアン（ベトナム）、ピガン（フィリピン）、ペナンやマラッカ（マレーシア）はもとより、文化遺産を多く抱えるヤンゴン（ミャンマー）などでは、歴史的な建物を保全し、文化観光に役立て、社会の発展につなげようとして取り組んでいます。経済開発が一早く進み、社会状況が変化し、人々の価値観が多様化する中では、歴史的都市の魅力を保全しようとする取り組みは、課題を抱えながら進もうとしています。

住民と行政がともに歴史と文化を尊重した都市開発を目指し、その歴史的環境を

受け継いでいくためには、将来の展望を共有し、それを実現するために、関係者が合意を形成し、総合的な計画に反映させることが大切です。住民・行政・専門家の対話を常に行い、相互に理解を得て、協力体制を発展させることも求められます。

このシンポジウムは、ASEAN の国々で歴史的都市保全に取り組んでいる有識者や実務家から話を聞きます。そして、意見を交換し、現状と課題について認識を共有して、今後の相互協力の発展につなげようとするものです。是非、ご参加ください。

プログラム

13:00-13:05	開会挨拶 石澤良昭（文化遺産国際協力コンソーシアム 会長 / 上智大学アジア人材養成研究センター 所長）
13:05-13:50	基調講演 「保存とは人々がすべてである：アジアの都市における歴史的な町並みの保存と持続可能な発展」 ヨハネス・ウィルド（シンガポール国立大学 准教授）
13:50-14:20	「ジョージ・タウンのリビングヘリテージを持続させるー世界遺産都市の挑戦ー」 クレメント・リャン（ベナン・ヘリテージ・トラスト 評議員）
14:20-14:50	「持続可能な発展のツールとしてヤンゴンの遺産を保存する」 モーモー・ルウィン（ヤンゴン・ヘリテージ・トラスト 所長 / 副会長）
14:50-15:05	休憩（15 分間）
15:05-15:35	「フィリピン・ピガンにおけるまちづくり（調整中）」 エリック・ゼルード（聖トマス大学大学院 CCCPET 所長）
15:35-16:05	「ホイアンの文化遺産保護と現代社会発展の対立を解決する」 グエン・スー（元ベトナム・ホイアン市人民委員長）
16:05-16:35	「ホイアン旧市街のまちづくりと日本の国際協力」 友田博通（昭和女子大学国際文化研究所 所長）
16:35-17:20	ディスカッション 司会：大田省一（京都工芸繊維大学 准教授）パネリスト：登壇者全員
17:20-17:30	まとめ・閉会挨拶 上野邦一（奈良女子大学 国際親善教授）



ミャンマー・ヤンゴン



ベトナム・ホイアン



マレーシア・ペナン

申込方法

コンソーシアムウェブサイトの申込フォームよりお申込みください。

<https://www.jcic-heritage.jp/eventform/>

※ハガキ・FAXでの申込も可。氏名（ふりがな）・ご所属・電話番号・メールアドレス・会員 / 非会員をご記入の上、「コンソーシアムシンポジウム参加希望」とお書き頂き、10月5日（木）必着で事務局宛にご郵送ください。



※お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております。

アクセス

東京国立博物館 平成館大講堂

東京都台東区上野公園 13-9

JR 上野駅公園口から徒歩 20 分
JR 鶯谷駅南口から徒歩 15 分

※正門からはご入場できません。
博物館西門よりご入場ください。

お問合せ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43 （独）国立文化財機構 東京文化財研究所内
E-mail: consortium@tobunken.go.jp Tel: 03-3823-4841 Fax: 03-3823-4027

